

國 分 寺 報

発行
真言宗国分寺派
大本山国分寺教学部
〒531-0064
大阪市北区国分寺
1-6-18
06-6351-5637
発行責任者 糜谷 真教



2016
謹賀新年

すすめます集う癒しの寺づくり

元日やゆくへもしひぬ風の音（渡辺水巴）

前年度をリレーする今年は、どんな風が吹くのやら。
昨年、国内では違憲の声が

高い安保諸法が数の力で強

引に制定され、アベノミクスとやらの経済政策で貧富の差

が拡大。凶悪犯罪や児童虐待や自殺等が増大しました。一

方、国外では宗教紛争、戦争

が絶えずシリアでは400万人の難民が国を捨て、ヨーロッパ各国へ流出。イスラム

過激派による無差別テロが恐怖と混乱をもたらしていくま

す。その一因は貧困です。

パリのテロで妻を亡くした

ジャーナリストのアントワーヌ・レリスさん（34）のフェ

イスブックへの投稿文は「私たちは君たちに憎しみの贈り物をあげない。君たちはそれ

憎しみに応えるのは、君たち

と同じ無知に屈することになる」とあり、まさにそれがぐうと胸に来ました。

国分寺は今、地域の人々が多く集まつてもらえる寺づくりを一歩、また一步と進め、悩み多き人生の癒しの場づくりを進めています。泥の世に仏の花を咲かせたくて。

本年も変わりませぬ皆様のご協力を心からお願いいたします。

大本山国分寺座主

合田 和教

お陰様で、檀家・関係者のお力で、各行事に人々が集まるお寺になりました。本年も多くの方々が気軽に笑顔で出入りし、笑顔でお迎えできる寺をめざします。本年もよろしくお願い申し上げます。

新春座談会

高野山開創1200年の成功を
中興300年へつなぐ

出席者

合田和教・管長 糜谷眞教・宗務総長
中谷仁見・総代会副会長
新里嘉孝・総代会編集委員
安藤育子 田中全義・極楽寺住職
名幸觀教・執事長 岩尾觀水 平賀照教



合田管長

地域の人々に寄り添う寺に

——昨年、一番印象に残ったことを

お聞かせください。

合田 高野山開創1200年ですね。

お大師さんが高野山に修行や勉強の場を開かれ、今もそれが脈々と流れています。同時に江戸時代末期に焼失した国分寺の中興300年も2年半後にやってきます。

中谷 寺に集まつて遊んだ頃の気持ちを取り戻して、子どもたちが安心安全に動き回れる地域を大人が責任をもつてつくつていかねば。最近の行事は、除

に支えられてあの法要が出来ました。再来年の中興300年、気をひきしめて一から頑張ります。

人は支え合つて生きる

——殺伐とした世相です。お寺の果たす役割、国分寺復興300年に向けての想いや抱負をお聞かせください。



糟谷總長

合田 マスコミもテロも、報復して方も一方通行、犯罪も一方通行の話に。それぞれの理由があり、一方通行は当事者にしたら正論なんでしょう。しかし本当の正論は、人は互いに支え合つて生きていくということ。相手への説明や思いやりという双方向性が必要です。昔はいやすことも一緒に引き受け、幸せなら倍になるというように双方向性がありました。国分寺はここ数年、人と人の関係を大事にし、双方向の対話を大切にしてきました。「嫌いやから付き合いたくない」は小学生、大人は嫌いな人のいいところを探していく、それが双方性です。

——自分さえよければいい、想像力の欠如がそうした世相の根本にあるのです。

合田 人に対する気遣いや思いやりを去年1年のテーマにしてきました。日本には思いやり、気遣いという言葉があります。10人に對して同じ思いやりでなく、1人をどう見ていくか、1人はどう見られていくかが大切なことです。いろんな人に目線を送れるようになればリーダーになります。国分寺を

次の世代につなぐため経験を積むことが必要です。高野山での達成感を次の300年にどうつなげるか、お大師さんの遺志を勉強していきます。立居振舞、衣のたたみ方、袈裟のつけ方、一からやり直す。自分が着るのは簡単ですが、勉強する時は人に着せることから始めます。国分寺に集まつてゐる人の輪が広がるよう努力します。

糟谷 高野山の法要を見ていて、こりやまだまだやなと思いました。気付きを大切にするのと、国分寺は本来勉強する場。一宗一派になつたのは明治になつてのこと。今一度、勉強すればいいのかどうかなど提案させていただい

——今年はどんなことを?



岩尾

糟谷 平賀は若いし大抜擢なんです。中谷 いい経験やね。でも適当にしようとならないで(笑)、体こわすから。平賀 裏方で動いてくれる人がほとんどのないので、よければご一緒に動いていただけたらと。

合田 やることはバラバラです。だけ最初に音を出す時、その前の所作をちゃんと揃えておかないとできません。

糟谷 国分寺には金堂、護摩堂、靈明殿の3つのお堂があります。その3つを使つて同時に法要をする前代未聞のことになります。でも思い切つてチャレンジしようかなと提案させていただいて。

岩尾 去年、検察審査委員会にあたりました。検察が裁判にならないと返したものを再度、裁判してほしいということで検察審査委員会にもつて

くるんです。一般の人11人が話し合つて、裁判にかけるか、かけないかを決める機関です。事件を見るときみしい人が多い。自分の見える範囲だけですが、寄り添つて行くことを課題として続けていきたい。

平賀 みんなでやつていく法要をめざし、今年もう1年、国分寺会の会奉行を頑張ります。

名幸 今年はニコニコ法要にしてね。去年は一生懸命の真面目顔だったから、ちょっと笑顔がほしかった。笑顔のある法を作つてね。(笑)。

——みなさん、ありがとうございます。

岩尾 法要を唯一止められるのが会奉行なんです。おいしく調理してもらわ

——去年は、女性、子どもと一緒に歩けたのは交渉の結果です。普通は僧侶だけ。こうしたら楽しいよねという話が高野山にすんなり通り、あの行列に。他宗教さんからは「よかつたね」と「本式にはどうなんだ」という両方の声があがりましたが、自己満足で頑張れました。無明の橋から奥之院燈籠堂まで2、300m歩くのはすごい緊張でしたが、遠慮なく意見を出し合う所まで行けば、教えていただいた経験を生かすことができるんじゃないでしょうか。

高野山は半ば忘れられたような時代も通ってるんです。だから歴史を伝える意味は、今、預かってるご縁としてすごく大事なのではないかと。今後の私たちの世代、檀家さんだけでなく住職も若い世代に替わってきます。寺としても伝え方を考え直す時代が来てるよう思います。

名幸 昨年の開創法要を喜んでいただけ、できなかつたこともあります。寺としても多くの反省が生まれました。発信力が悪かったという反省から、今年に向かっていいテーマができました。発信しているつもりが伝わつてなかつたのです。国分寺中興300年に向けた講習会など、今年は「伝える」をテーマに前で世代、男女の別なく拌ませてもらいました。うちの姪も燈籠堂まで入れていただき、良かつたので興奮してその晩眠れなかつたらしい(笑)。

合田 名幸が一生懸命企画したんです。50日間の法要で他派は伽藍等で當んだけど、私たちは奥之院、お大師さんの前で世代、男女の別なく拌ませてもらいました。うちの姪も燈籠堂まで入れていただき、良かつたので興奮してその晩眠れなかつたらしい(笑)。

田中 女性も一緒に、奥之院の無明の即座に奥之院でやりたいと。

名幸 昨年の開創法要を喜んでいただけ、できなかつたこともあります。寺としても多くの反省が生まれました。発信力が悪かったという反省から、今年に向かっていいテーマができました。発信しているつもりが伝わつてなかつたのです。国分寺中興300年に向けた講習会など、今年は「伝える」をテーマに前で世代、男女の別なく拌ませてもらいました。うちの姪も燈籠堂まで入れていただき、良かつたので興奮してその晩眠れなかつたらしい(笑)。

糟谷 平賀は若いし大抜擢なんです。

中谷 いい経験やね。でも適当にしようとならないで(笑)、体こわすから。

平賀 裏方で動いてくれる人がほとんどのので、よければご一緒に動いていただけたらと。

中谷 何でもさせてもらいます(笑)。

糟谷 平賀は若いし大抜擢なんです。

中谷 いい経験やね。でも適当にと

平賀 いたらいで(笑)、体こわすから。

合田 やることはバラバラです。だけ最初に音を出す時、その前の所作をちゃんと揃えておかないとできません。

糟谷 平賀は若いし大抜擢なんです。

中谷 いい経験やね。でも適当にと

平賀 いたらいで(笑)、体こわすから。

合田 やることはバラバラです。だけ最初に音を出す時、その前の所作をちゃんと揃えておかないとできません。

糟谷 平賀は若いし大抜擢なんです。

中谷 いい経験やね。でも適当にと

平賀 いたらいで(笑)、体こわすから。

合田 やることはバラバラです。だけ最初に音を出す時、その前の所作をちゃんと揃えておかないとできません。

糟谷 平賀は若いし大抜擢なんです。

中谷 いい経験やね。でも適當にと

平賀 いたらいで(笑)、体こわすから。

合田 やることはバラバラです。だけ最初に音を出す時、その前の所作をちゃんと揃えておかないとできません。

糟谷 平賀は若いし大抜擢なんです。

中谷 いい経験やね。でも適當にと

平賀 いたらいで(笑)、体こわすから。

合田 やことはバラバラです。だけ最初に音を出す時、その前の所作をちゃんと揃えておかないとできません。

糟谷 平賀は若いし大抜擢なんです。

中谷 いい経験やね。でも適當にと

平賀 いたらいで(笑)、体こわすから。

日々を大切に精一杯生きましょう

大本山 国分寺
顧問会 会長 中村興司

謹んで新春を寿ぎ、皆々さまのご健康とご繁栄をお祈り申し上げます。

ましては国分寺の運営のため
多大なご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。
さて、今年の干支は丙申
(ひのえ・さる)で俗にいって
「さる」年であります。

両股を広げた形であり、強い生長力・推進力を示し、何が何でも目的を果たすという、たくましさを一字で表しています。また、「申」の原義は、象形文字で雷が放つ稲妻にが走る形であり、人々は雷に遭い、初めてたたずまいを改め、自然の力のみが人々を啓発するという意を持つています。今年の「さる」年は、自然の動きで、国、企業、個人が覚醒するまで、「現世

代の実態を衆知さず「一年」つまり、万人が今までの考え方、策、理屈が通用しない現実を、身体で知る年とされています。

と、昨年の国慶節の休み期間中に日本を旅行した中国大陸の旅行者は40万人に達し、観光、買い物を目的とした人が70%に達したそうです。「爆買い」という中国人の消費行動は、日本経済に恩恵をもたらしていますが、一方で中国景気の衰退で爆買いバブルが弾ければ、商品を供給する日本のメーカーは、増産について極めて慎重にならざるを得ず、チャイナリスクの影響を大きく受けることになります。

世界や国内において、私たちの身の回りには不安定な要す。

「ことは出来ます。明日のあなたは、今のあなたの心が創ります。一日一日を大切に、今を精一杯生きていきましょう。

今年も顧問会を含めた皆々さまにご相談、ご協力をいただきながら各行事を進めて参りますが、「お参りに来てよかったです」「楽しかった」「思つてお寺の門を出ていただけるような何か一味を加えられる企画を国分寺顧問会としても考えて行きたいと思います。今後とも皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願ひ致します。

毎月欠かさず第4土曜日に
は月並大護摩供を厳修してお
り、11月の終わりに高野山開
創法会後初めての関東地区僧
侶講習会を開催致しました。



中興300年

中興300年へ講習会



旧年中 皆様方の並々ならぬご厚情に感謝しさらに身の引き締まる思いで御座います。

先日は仏教伝道協会の50周年記念式典に出席してまいりました。佛教伝道協会とは皆様も一度はホテルなどで目にしたことがあると思われる仏教聖典という分厚い本を世界中に頒布し仏教を世に広める活動を主にしている団体です。現在は世界的企業にまで成長したミツトヨというマイクロメーターを初めて純国産として産み出した精密測定機器メーカーの創業者、沼田恵範師が発願し設立されました。師は広島県の真宗寺院の三男として育ちましたが自らは僧侶

るための経済基盤をとの思いで創業されたのです。

(宝不動、みのり不動)をもとに、現在の御堂が再建されました。

現在では都会にある古刹として大楠、大銀杏も生茂り、祈りの場、また憩いの場、パワースポットとして親しまれております。しかし再建後約半世紀を経て劣化が進み、阪神大震災の折、損傷を受けたこともあり、この度、江戸時代の快圓比丘中興から三十年に当たる二〇一八年（平成三〇年）に執り行う記念法要に向けて、痛みの目立つ諸堂や堂内莊嚴もそれぞれ修復に着手していくこととなりました。何分皆様のご協力無くしては成り立たず、ここに御寄進のお願いを申し上げる次第で御座います。何卒ご理解の上お力添を宜しくお願ひ申し上げます。

国分寺の境内には戦火をも
潜り抜けひつそりと建つ石碑
がいくつも残されています。
皆様はご存知でしょうか。
今回はその一つ、山門前に
建つている**大界外相**と刻まれ
た迫力ある石碑をご紹介しま
す。

これは所謂、結界石と呼ばば
れるもので東大寺などにも残
されています。かつて律院で
ありこれより先は戒律の厳し
い聖域であるという証です。
残念ながらその文字以外は刻
まれていないのでいつから国
分寺にあるのかはつきりしま
せんが、現在の国分寺におい
ては歴史を物語る重要なもの
でございます。その他、今後
シリーズでご紹介致します



國分寺中興300年へ

中興300年へ
お力添え願います

国分寺宗務總長 糟谷 貞教

シリーズ1 石碑は静かに語る

秋の団体参拝

近畿36不動尊「不動寺」と丹波古刹「達身寺」
黒豆狩りやさやま食べ歩きを楽しむ



不動寺

10月25日、秋恒例の団体参拝が行われました。

天気もよく朝のお勤めを国分寺昭和金堂で行い、近畿36不動尊霊場の一つ、豊中市にある「不動寺」へ。ここで滋賀県の琵琶湖龍最寺一行と合流し、山門をくぐりご山主様に迎えられ本堂でお勤めを行いました。境内地を少し散策、大阪市北区から移築した護摩堂を拝見させていただきました。

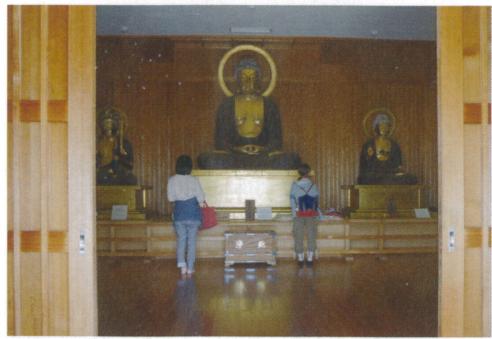
お不動様に見送られ、氷上・達身寺へ。茅葺き屋根の本堂の奥には、木彫仏の原郷と言われる沢山の仏様がおられました。また、作りかけの仏様もいらっしゃる事から、寺院があつたわけではなく工房であり、丹波仏師の発祥の地ではないかということでした。ロマンあふれる謎に参拝者一行の領きが深くなっています。

この地域では、村おこしの一環で田んぼを使い一面にコスモスを咲かせており、風に揺れるコスモスの絨毯をバツクに皆様写真を撮つておられました。

昼食を終え丹波黒豆狩り



不動寺でお勤め合掌



達身寺



鳳鳴酒造で試飲



お坊さんの黒豆狩り初めて見ました



まっ青な秋空の下、コスモス揺れて

丹波路を満喫しました

です。「株ずつ用意された黒枝豆を枝からもぎり袋に詰めていきました。「枝豆で晩酌!」「明日は、豆ご飯!」

など楽しげな声を聞くことができました。そして篠山城の城下町で焼き栗・黒豆パン・黒豆大福などのお店をはしごし、300年以上の歴史のある鳳鳴酒造へ。酒蔵を見学してお酒の試飲。普段の団体参拝とは違う和やかな雰囲気で行うことができました。

今年春の団体参拝は、淡路島七福神めぐりを予定しております。皆様のご参加お待ちしております。



グラフィティ 2015

秋彼岸会 祖先を供養して

地蔵盆会 子どもらの幸せ願う

何ごとも人が集まらないと始まらない。寺は昔、人々が集う学校、病院、憩い、避難の場所でした。親と子が、特に子どもの歓声が響くにつれ、寺側の笑顔も絶えません。

そこで国分寺は一心発起、関係者の努力や多くの協力を得て年々、寺の各行事に多くの人が集まって来ていただけようになりました。親と子が、特に子どもの歓声が響くにつれ、寺側の笑顔も絶えません。



春夏秋冬に恵まれた日本の自然は、神の賜物。その季節の行事は生きとし生けるものの鼓動です。国分寺が行う季節の年中行事は、まさに時を刻む国分寺の躍動。ご注目のほど。

9月23日、国分寺は定期法要の秋彼岸会を行いました。皆様のご先祖様のご供養はもちろんのこと、所願成就、家門繁栄のお護摩を焚く法要で、別名「百萬枚大護摩供」とも呼ばれています。護摩を焚いて上がる炎がさまざまに変化して金堂内は幽玄の雰囲気に包まれました。

「思いつくままの落書き帳」の米倉彰さん
秋の団参にご夫婦で参加されてました

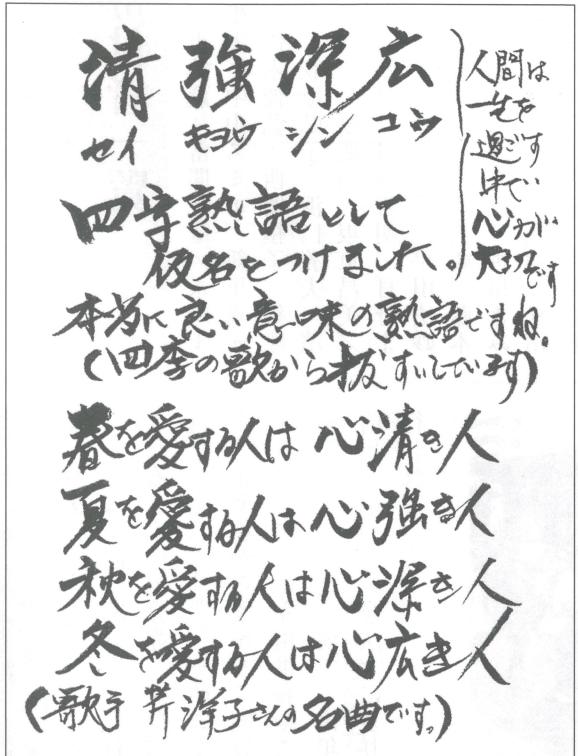
昨年の秋の団体参拝で檀家さんの米倉彰さんにお会いしました。前号で紹介させていたいた「思いつくままの落書帳」を書かれている方です。日々の中でも気付いたことを達筆の墨跡のびやかに記される文章は、軽妙洒脱で思わずクスッと笑うものあり、「うん、もつともやなあ」と共感するページがあつたり、心をほこつとさせてもらい楽しませてもらつたのです。国分寺でその作品集を見せていただき、ぜひとも紹介させて



米倉さんご夫婦

ほしいとご本人の了解をいた
だいたものの、お会いするこ
とはありませんでした。ご挨
拶したかったのですが、その
機会もないます。

参なさつてました。その中の1つ、芹洋子さんの「四季の歌」を引用されたもので「なるほど目のつけ方が違うなア」と思ったので、紹介させていただきます。柔軟な心と目でものごとをつぶさに観察されていることを感じました。米倉さんの書かれたものは暗い世相の中で、心正しく生きようという一服の清涼剤。有難うございます。



除夜の鐘



1年は早かつたですね。若い頃も同じ時の流れなのに、年をとると時の歩みが加速しているように感じるのはなぜでしょう。こなさねばならないことが多すぎて、時間と追っかけっこで1日が過ぎてしまします。今年はゆとりを持ちたいもの。

さて国分寺の除夜の鐘つきは、年々、参加下さる方が多くなり、今や長い順番待ちという嬉しい状況です。お気軽ににお寺へお越しください。写真は一昨年の大晦日。袋に入ったワンちゃんも一緒に参 加の鐘つきでした。

高野山1200年の昨年は、どうお過ごしだったでしょうか。私は、1年を通して忙しかった年でした。本年度はどういった年になるのか楽しみです。

さて、1つ目標といいますか、心がけていることをお話しします。

この物語は、桃から生まれた桃太郎が成長し「猿、鳥、犬」を家来にして、悪さをする鬼を退治するといったものですが、これはあくまでも幼子にする話です。実は、もつと複雑で大人でも理解をするのが難しい話なのです。

まず、十二支を北から子・丑・寅と順に並べていきます。丑と寅の位置を艮（うし

良いことをすれば回りに回って自分の徳になり成長する。成長すればやがて理解をして仏様の

この物語は、桃から生まれた桃太郎が成長し「猿、鳥、犬」を家来にして、悪さをする鬼を退治するといつたものですが、これはあくまでも幼子にする話です。実は、もつと複雑で大人でも理解をするのが難しい話なのです。

まず、十二支を北から子・丑・寅と順に並べていきます。丑と寅の位置を艮（うし

（とら）と言い鬼門にあたります。牛の角に虎のパンツ、鬼のイメージに近づいたでしょうか？次に、申・酉・戌の位置は、鬼門からほば、反対の西側に位置しています。これは、家来の申・雉・戌を表します。

ここで、陰陽五行説が出てきます。（木・火・土・金・水）の順で簡単に言うと隣のものとの相性を表していくまです。たとえば木から火が生じ、火が燃え灰が出て土となり、土を精製すると金属が生まれ、金属の表面には水滴が生じ、水は木を育てる。これは、「金」となります。この金を果物に例えると桃になり

これは、中国の古い話「西王母の話」が関係していますが、説明を略します。全体像が見えてきました。災の元凶である鬼門の鬼を反対側の桃太郎・犬・猿・雉が睨みをきかせ退治をしてバランスを取り。幼い子には、悪いことをしたら、違うバチが当たってしまう。いい事をすれば、回りに回って自分の徳になり成長する。難しい話を聴いて今すぐに理解できなくとも成長すればやがて理解をして仏様の真理にたどり着く。世の中、上手いことバランスを保っているという意味も取ることができます。

来てもうすぐ4年になりますが、来た当初は各地方に出張し、いろんな行事や講習会の現場に行つて私が何をしなければいけないか、どこを見ればいいのか全くわからない状態で、ただひたすら人の後ろについて行くので精一杯でした。

そこで何故、私は上司よりも動きが遅いのかと考えました。今までの私は、法要など管長随行で行事に行つた際は、人の後ろについて行くことしか考えず、緊張のあまり一点に集中しすぎ御堂全体の動きが見えておらず、その場から動けない状態が続いていました。「このままでは駄目

健太の ひとりごと

3

い、御堂の外から全
体を見回し、次に誰
がどう動くか、どこ
に何を持って行くな

には国分寺中興300年がありますので、そこで少しでも戦力になれるよう精進していきたいと思います。

年々増える参加者

若い人も家族連れも

募集

俳句、川柳、写真、エッセイ等
日常生活の中での作品

応募要領

- 上記作品は、よければ住所、氏名、お電話等を記載し、国分寺へお届けください。
- 採用作品は国分寺寺報に掲載します。
- なお、エッセイ等の文章は、200字でお願いいたします。

句の中に同じ字

(いろは) が無い俳句

作者 竹澤 成時

ご存知、空海の作と言われる「いろは」があります。「いろはにほへと」のかな文字の原点というそれは「色は匂へど散りぬるを 我が世たれぞ常ならむ 有為の奥山今日越えて 浅き夢見じ醉ひもせず」というかなが一文字も重複しない和歌です。

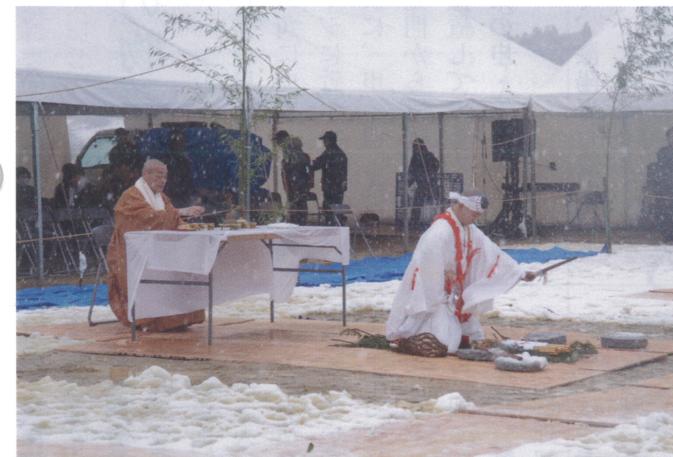
それにならつて竹澤さんは、左の俳句を詠みました。十分、味わつてください。

夢に見た 幼い頃の 秋祭り
林檎・梨・葡萄・柿・枇杷山に積み
口一ノ プウエイ 山を繋ぎて 紅葉狩り
赤トンボ 稲尾に 羽根休め

忘れぬ思い出の写真

2011年3月11日、大地震、大津波、原発事故という三重の災害が東北地方を襲つた。1年後の3月11日、国分寺は南相馬市の泉海浜公園で「復興柴燈大護摩供」を行ない、雪の中で吼える海へ向かって鎮魂の読経を唱え、祈つた。あれから6年がくるが、復興は遅々としている。

今、雪上に座し、祈る合田和教管長（左）と田中全義師（右）の姿を強烈に思い出す。「思いよ届け」と叫びつつ。



認知症の母と暮らすということ
三枝 のんこ

「助けてエエ——殺されるウ——ひと殺しイー」、やめてよといふのに、深夜、集合住宅の廊下で母の絶叫が響き渡つた。向いのマンションのあちこちで電気がついた。

普段は穏やかな母が、この日は怒りをあらわにしていた。スイッチが切り替わつたのだ。私のそばに来では「もう帰る」を連発。「おじいさんはどこ? おばあさんはどこ?」、私を自分の世界に引きずり込み、深夜になつても解放してくれない。

終わることのない不毛の会話。「2人とももう死んでるよ」「何でそんな大事なこと教えてくれへんかったん」「だつてお母さんが看取つてあげたやないの。ほら位牌もあるし」「そんな殺しといて勝手につくつたんや」。えつ! 私が人を殺したつて? 仕事を中断させられるたびに私はだんだん余裕がなくなり怒りっぽくなつていく。お母さんの住んでた家にはもう帰られへんの。ご飯が作れない、買い物もできない、洗濯、掃除もできないから、私のいる大阪の家がお母さんの帰る場所」と何度も言つても聞く耳持たず。そして自らの前に立ちはだかる私を突破しようとの事態を引き起こしたの

だ。
認知症の人には、逆らわずうんうんと聞いてあげなさいと言われる。しかし怒りがふつふつと湧いてきて、あかんと知りながら母と同じ土俵にあがつてしまつ私。そんな八方塞がりの日々をショートステイやデイサービスが支えてくれているのが本当にありがたい。しかし片方が一方的に負担を強いられる関係の理不尽さに、耐えきれないくなる時もある。人はどのように認知症になつた肉親と向かい合つているのか、私は知りたかった。

そんな折 認知症の母と娘のドキュメンタリ「徘徊 ママリン87歳の夏」を観た。母親の徘徊は1日5、6キロは当たり前。つかず離れず気付かれず、歩き出した母親を娘のアッコさんはここまでも追いかけてゆく。6年間ケガもせず、自在に町を徘徊してきたという背景には、絶えず見守るアッコさんの目と地域の人情がある。母ママリンは道行く人に「奈良はどこ」と尋ね、電信柱にも挨拶する可愛い気のある人だが、やさしい人と看破すれば「娘に追い出されて」と芝居を打つ機知も持ち合わせ、おかしみがある。この摩訶不思議な人間存在の深淵にありのままに感じられる。認知症の家族をもつ方にヒントが詰まつた映画だ。

総本山・各寺院・講社御用達
土産物一式、各種念珠、仏具仏像、位牌、軸物、仏書経木、経木塔婆、各種守礼、杓子、金剛流御詠歌法具、教典一式

桂珠数屋住兵衛
たんげ
和歌山県高野山 電話高野(0736) ⑤2159番
振替 00960-8-68291 郵便番号 648-0211

MK 良い材料で良い住まい
生コン・建築材料・工具資材全般・リフォーム・外構・ブロック・各種工事施工
(株)マキタ特約店
有限会社 南建材社

〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目12番4号
TEL 06-6351-5516 (代表)・4698
FAX 06-6353-6439
URL <http://www.minamikenzai.co.jp>

— 安価 安全 安心 —
いま人気の 永代管理 永代供養 のお墓

「継承者がいない」にお応えし
絶対 無縁さんを出しません

〒 575-0022 四條畷市南野 2557-1

☎ 072-862-0594 宝蔵寺・南野靈園

寺の所有墓の限定販売中です。詳細は事務所まで。

雨降つて地固まるで、「国分寺寺報」も読者の声に打たれ「年々多彩」といつたところでしょうか。

新年、国分寺は「平成砂漠」で人々が孤立無援になつっていく時代に、「人々が集える寺づくり」をめざそうと決めました。僧侶、役職員の「座談会」や昨年の諸行事の記事や、ほつとする寄稿文などもぜひ、お読みください。

人それぞれの場で、懸命にがんばつていらっしゃることが分かります。

明けましておめでとうございます。

本年も、よろしくお願ひいたします。

佛壇 佛具 琴光堂

淡路駅前店 〒533-0032
大阪市東淀川区淡路4の9の12
電話 06(6324) 0801(代表)

創業80年 葬儀社花熊 家族葬専用式場



Flower Hall

花熊フローベアホール
北斎場前
大阪市北区長柄西1丁目3-33
0120-130-930

家族葬専門葬儀社
山 葬
yamasou

- 山葬はご家族の想いを大切にいたします。
- 精一杯お手伝いさせていただきます。
- ご家族・友人でおくる低価格の家族葬をご提案いたします。

〒530-0026 大阪府大阪市北区神山町10-13 KENTUCKY II 501
TEL 06-6365-1771 FAX 06-6365-1772
携帯 090-7487-6889 (山本)
E-mail yamasoumail@gmail.com
URL <http://www.nisso-osaka.com>

納得価格で、誰もが満足のいく
葬儀を提供します。
無理のない、充実した家族葬

創業明治十年 直葬から一般葬まで
家族葬の川上葬祭

大阪市規格葬儀取扱指定店 厚生労働省認定 葬祭ディレクター技能審査 1級葬祭ディレクター在籍
本社: 生野区桃谷1-10-10 キタ店: 北区天神橋6-1-1 天王寺店: 天王寺区寺町1-3-5

電話受付 24時間(年中無休) **0120-420-441**

地域限定

これが常識

オーシロ カズミ うそお



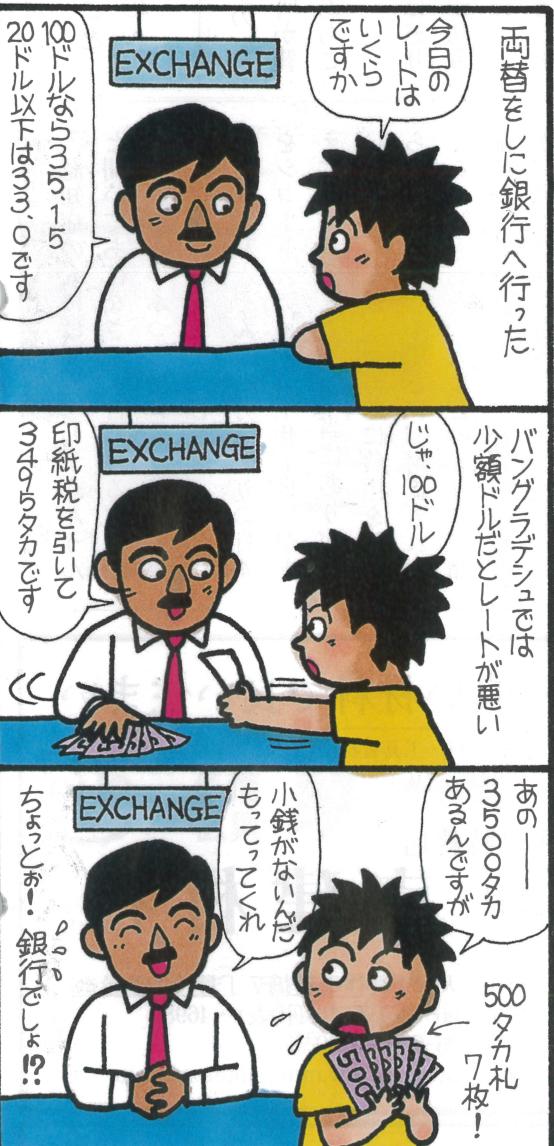
わのこ 小銭の行方

「ハーバードバス」で移動中、お年寄りの夫婦が乗ってきた。車掌とのやりとりが面白い。夫婦が目的地までの運賃金が少し足りないのに、車掌は料金を出し替えた。お年寄りが車掌に感謝の意を表すと、車掌は「うそお」と驚いた。

「ほんとにたぬき、あと10タカ(約8円)おいておまけで」とお年寄り、「…………おひるねが、10円が山廻したが、8円でいいんだよ」とお年寄りがままねた。その後でいつぶつ意地が現れる。夫婦が運賃を払った。バスと生糞をかきこぼ業してくるので、風の毒だかりで誰でも無料で乗せるわけにはいかないのだ。

バスは社会に出た。余った者は持たない者となり、みんな教える。30日せぎの人に大きな額、或るくはなべてやない額……。バンクハイツの人々は、お金が払えないからここでバスから降りたりしない。人間の事情が規則やマニアリに優先する、最も強い生き方だ。

西替をしに銀行へ行った。成り立つべき銀行員が悪い。成り立つべき銀行員は、昔は私も意地にならなかったのかの一つひとつをかいおはんしたのだ。わのこも、チップの感覚のほか私は戻しきたおつりを金額受け取らしめた。貧しいと言われるバンクハイツが、人々はおつかれやうわくにおふりしながら意外と多い。



「100ドル以上あると、100タカで100円だよ。100タカで100円だよ。」
「あ、よくある。銀行でしょ!」
「小銭がないんだから、もってないけれども、日本国内でだけ意味を成す。小銭は感謝を簡単にお表現できる一番早い方法だし、形を変えて人を助けたりもできる。」
「バンクハイツは今日も小銭が生きている間に行き交い、人と人との空間を潤していく。」

「足りない国にハーバードバスで暮す科たちは、時に滑稽なほど小銭に遊びじがない。1円も足りないけどバスには乗れない」と、レジ係はたゞ1円の手札を出しながら待たせぶりはない。

たゞベビッシュなタカドウボル成り立つキャラクター(人形車)などいつかじ乗る権利があるから、昔は私も意地にならなかったのかの一つひとつをかいおはんしたのだ。わのこも、チップの感覚のほか私は戻しきたおつりを金額受け取らしめた。貧しいと言われるバンクハイツが、人々はおつかれやうわくにおふりしながら意外と多い。



地域限定

これが常識

オーシロ カズミ うそお



その3 小銭の行方

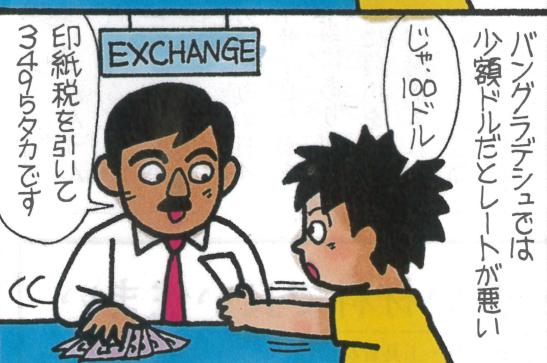
「ハハクルトハナタマニハアシナハバスで移動中、お年寄りの夫婦が乗つれた。車掌とのやりとりが面白いので、ふたりが目的地まで乗るには所持金が少し足りない」といふ。おねん車掌は机の上に手を組んで、わからんとした口論語でいって言つた。

「ほんくだらぬ話に、あと10タカ(約30円)おいてあづけいへばいいや。」……おこひ私が、10円が山廻したが、30円でいいんだよと思われるがままね、た。しかし後でこゝへ意証が取れりやう。ハハクルトヒ生糞をかきこむ業して居るのを、風の毒だかりとて誰もが無料で乗せるわけにはいかないのだ。ハハクルトヒ社員では、余った者は持たない者に受け取れど、教えどこの。30円せめの人に大きな額、或るくはなべてやない額……バンクルトヒの人々は、お金が払えないからここでバスから降りたりしない。人間の事情が規則やマニアリに優先する、最も強い生き方だ。

EXCHANGE



EXCHANGE



EXCHANGE



小銭を差し出すのが失礼だとして日本式の感覚は、

日本国内でだけ意味を成す。小銭は感謝を簡単

に表現できる一番早い方

法だし、形を変えて人を助けたりもられる。

バンクルトヒは今日

も小銭が生きこゑん間に

行き交い、人と人との空

間を潤してくる。

「足り」の国ハナタマニハアシナハ
お科たちは、時に滑稽なほど
小銭に遊びじがない。1円
も足りぬことバスには乗れ
ない。レバハジタリス一円
の手つかずややうつまむ待
たねばなり。

たゞベビのタカド交渉
成せんじつサンヤ(へか車)
なつのタカド乗る権利が
ああからん、昔は私も意地
になつたタカのおつたとかうおつらしめたものだつた。わの
日暮りしじつり、錢の用意あるなこつサンヤ運転手は、私の方
に10タカれを握り、両替に走つ回る。わがぼく彼に金額をか
けんや、チップの感覚のない私は戻しきたおつらし金額を受
け取らしめた。貧しいと言われるバンクルトヒだが、人々
はおつらせやらねやうに思ふりんが意外と多い。



25ルアラの
お返しある

